

釜石発

中南米の研修生が視察

茨城県つくば市で地震工学や津波防災を学んでいる中南米の研修生3人が釜石の湾口防波堤を視察しました。一行は船で湾口防波堤に向かい水深63メートルに造られた巨大防潮堤の構造や役割について説明を受けました。エクアドルの研修生は「帰国したら議論を深め、防災に予算を投入するよう政府に働きかけたい」と話していました。(11/8 ニュースエコー)



大船渡発

駅ホームに“柿のれん”



大船渡にある三陸鉄道三陸駅のホームにオレンジ色の「のれん」が登場しました。吊るされているのは大船渡の特産品「ころ柿」です。今年は4000個のころ柿が作られる予定で、20日間ほど天日干しされたあと駅の利用者や特別列車の乗客に振る舞われます。(11/9 ニュースエコー)

山田発

復興山田を味わう



山田町の魅力を広く発信しようと、毎年恒例の「鮭まつり」にプラスしてステージイベントを充実させた「復興山田を味わうまつり」が

初めて開かれました。目玉はサケのつかみ取り。去年は漁が振るわず中止になったため2年ぶりの復活です。また、カキ汁の振る舞いには行列ができ、大勢の人が山田の旬の味を堪能していました。(11/11 ニュース)

久慈発

三鉄の新車両が到着

来年3月のJR山田線の宮古・釜石間の移管に向けて三陸鉄道の久慈車両基地に新たな車両4両が到着しました。新車両は、新潟県の製造工場から秋田と青森を経由して久慈駅に入り、駅から車両基地へと移されました。新車両はあわせて8両導入される予定で、来年2月からは移管区間で運転士のための訓練運転が実施されます。(11/13 ニュースエコー)



大槌発

高台への避難ルート確認



津波の避難防災訓練が大槌町で行われました。訓練は午前8時に大きな地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で行われ、最大で4メートルほどかさ上げされた町の中心部に住む住民たちが、高台の中央公民館を目指しました。訓練に参加した人たちは避難ルートを確認し、改めて防災への意識を高めていました。(11/17 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、11月23日(金)24日(土)に道の駅たろう隣のイベント広場で行われる、「第39回宮古市田老鮭・あわびまつり」について話してくれました。このイベントではサケのつかみ取りのほか、アワビ等の水産物の販売も行われます。「三陸宮古のサケ・アワビをご堪能しに来てください」との事でした。(11/14)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122